

2015年7月

ティファニー、最新版サステナビリティレポートを発表

採掘現場における環境面、社会的活動の支援からダイバーシティ、慈善事業まで
多岐にわたる積極的な取り組みを実施

ティファニーは、最新版となる2014年サステナビリティレポートを発表し、オフィシャルサイト内 Tiffany.co.jp/CSR で公開しました。このレポートでは、ティファニーのサステナビリティの取り組みと、環境責任および社会的責任への継続的な取り組みについて説明をしています。

ティファニー・アンド・カンパニー CEO のフレデリック・キュメナルは、「ティファニーでは、サステナビリティは経営戦略の重要な要素であって、社内のあらゆる部門で実践されるべきだと考えています。」と述べています。キュメナルは CEO に就任早々、アニサ・カマドリ・コスタをティファニー初の CSO (最高サステナビリティ責任者) に任命しました。CSO は、社会・環境面の業績の継続的改善を確保し、経営目標とのさらなる整合を図るための戦略的なサステナビリティ課題を策定します。

2014年サステナビリティレポートは、ダイヤモンドやゴールドから包装に至るまでの原材料の責任ある採掘、調達に的を絞り、ティファニーが最も重要と考える環境、社会面の課題に対する取り組みを示しています。イエローストーン国立公園やブリストル湾といった自然のままの手つかずの景観を鉱山開発の有害な影響から保護することであれ、アンゴラやジンバブエで人権保護に取り組んでいる人々への支持を表明することであれ、ティファニーは、責任ある倫理的行動を奨励するために、そのブランド力と発言力を生かさねばならないと確信しています。

GRI (グローバル・レポーティング・イニシアチブ) および国連グローバル・コンパクトの報告枠組みに沿った、レポートの各分野の要点を以下にご紹介します。

鉱山での責任ある採掘: 2014年には、鉱山での責任ある採掘に関して世界的に認められた基準の策定に向け、大きな前進がなされました。ティファニーは、IRMA (the Initiative for Responsible Mining Assurance: 責任ある鉱業保証のためのイニシアチブ) の設立メンバーとして、業界、NGO、影響を受ける地域社会、労働団体等の代表と協力して、責任ある鉱業における真の第三者となるあらゆる出資者の基準策定に取り組んできました。IRMA は、数年にわたる重要な対話や議論、建設的な歩み寄りを経て、2015年には規格案を試験的に実施し、さらに、改訂された草案を発表した上で、最終的な基準の採択を目指す予定です。

またジュエリー業界では他に類を見ませんが、ティファニーは、ダイヤモンドや貴金属を供給する鉱山の多くと直接的な関係を結ぶことで、調達への革新的アプローチをとってきました。2014年には、調達するダイヤモンド原石の100%を、名の知られた鉱山、または複数の名の知られた鉱山を保有する供給会社のいずれかから直接仕入れました。ティファニーのダイヤモンド原石の大半は、最高の品質基準を維持するために世界各地のローレルトン・ダイヤモンド社^(注)の施設でカットし、研磨されます。

(注) ローレルトン・ダイヤモンド社は、2002年にティファニーの完全子会社として設立され、ダイヤモンド原石の採掘とともに、仕上げ後の石の調達、カット、研磨、そしてティファニーに供給する世界のサプライチェーンの管理を行っています。

紙および包装: ティファニー ブルー ボックスおよびバッグ(袋)用の紙の責任ある調達を保証するため、2014 年にはボックスとバッグ用の紙の供給会社の 100%が、FSC®(森林管理協議会)認証を受けていることを確認しています。FSC® 認証とは、木材と紙製品が再生可能であり、よく管理された資源に由来していることを保証するものです。またティファニー ブルー ボックスは、再生紙を 89%以上含む用紙で作られ、ティファニー ブルーのバッグは 50%の再生紙を含む用紙で作られています。

建物の環境影響: ティファニーは、2013 年から 2020 年までに、地球温暖化ガスの総排出量を 15%削減することを公約しました。この目標達成に向け、店舗でのディスプレイ用照明を効率のいい LED 照明に置き換える取り組みを世界的に継続するとともに、その取り組みを天井照明にも拡大しました。2014 年の終わりまでには、30 を超える店舗の天井照明に LED を導入し、2015 年にはさらに 35~40 店舗での実施を予定しています。

社員: ティファニーはこのほど、前途有望な多様な人材を集め、定着させ、昇進させるための人材およびジョブローテーション開発プログラムであるティファニー アカデミー(Tiffany Academy for Excellence and Diversity in Leadership:リーダーシップにおける卓越性と多様性のためのティファニー アカデミー)を導入しました。ティファニー アカデミーは、今のところ米国における主要部門に的を絞っていますが、今後はさらに対象を拡げる予定です。これは、ティファニーのダイバーシティ戦略を再構築するための重要な取り組みの一環です。多様性はいかねてからティファニーにとっての中心的価値観であり、人材やビジネスの観点から活用可能な潜在的機会に大きな期待を寄せています。

慈善事業への寄付: 慈善事業への寄付は、ティファニーの企業文化の重要な要素です。ティファニーは、会社の本拠地であるニューヨーク市において文化施設を支援してきたという歴史があります。例えば今年、ホイットニー美術館の2017年、2019年、2021年のビエンナーレを後援するため、同美術館と長期パートナーシップを結びました。また、ティファニー財団はティファニーのサステナビリティの取り組みにおいて引き続き重要な役割を果たし、鉱山での責任ある採掘やサンゴ礁の保全といった分野で活動する主要な団体を支援しています。

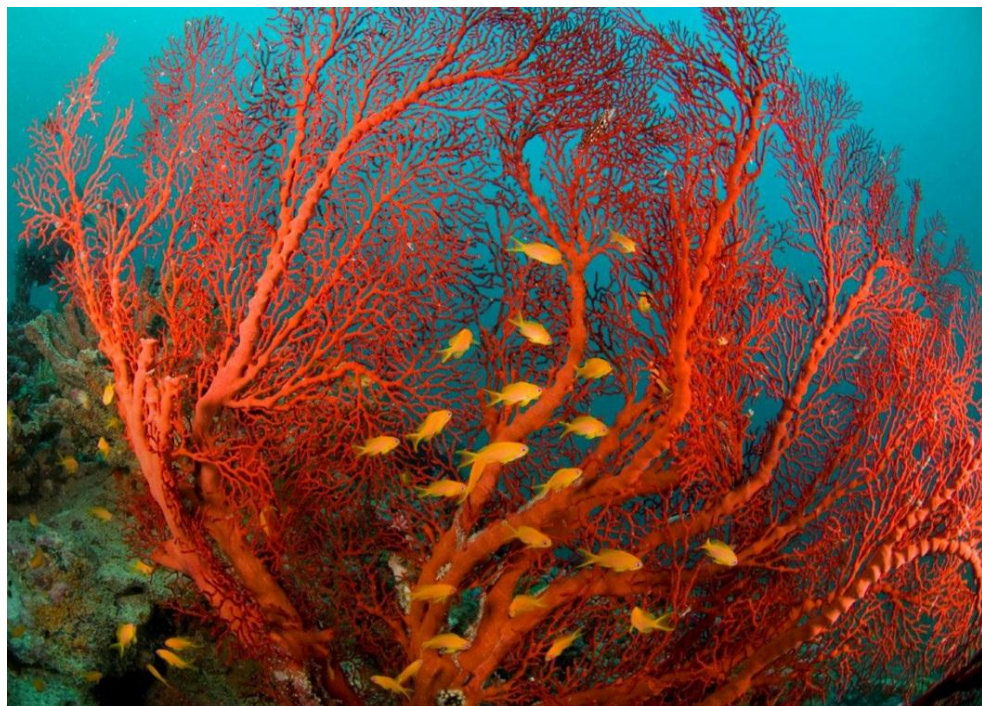
上記の要点についてさらに詳しくお知りいただくためにレポート全文(英語)をお読みになる際は、[Tiffany.co.jp/CSR](https://www.tiffany.co.jp/CSR) にアクセスいただくか、#TiffanyCSR をフォローしてください。

ティファニーは、1837 年にニューヨークで創立された世界的に有名なジュエラーです。ティファニー・アンド・カンパニーは、サステナビリティの取り組みを行いながら、ジュエリーを製作し、全世界で展開するティファニーの店舗を運営しています。またインターネットやカタログ、ビジネスギフトの直接販売も行っています。より詳しい情報については、オフィシャルサイト [Tiffany.com](https://www.tiffany.com) をご覧ください。

TIFFANY、TIFFANY & CO.、T&CO.、およびティファニー ブルー ボックスとティファニー ブルーは、ティファニー・アンド・カンパニーとその関連会社の登録商標です。



ティファニーが大規模鉱山開発から豊かな自然環境を守るための行動を起こしたアラスカ州ブリistol湾
Photo Credit: Photograph © copyright, Robert Glenn Ketchum, 2015



ティファニー財団は世界で最も貴重な景観や海洋環境の保全につとめている
Photo Credit: iStock Photo

この件に関するお問い合わせ先
ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク
パブリックリレーション
TEL 03-6895-4473 FAX 03-3287-0168

お客さまのお問い合わせ先
ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク 0120-488-712